

## あとがき

3月11日に起こった東日本大震災により多くの人命と家屋が失われ、4か月経った現在でもいたる所で暗い影を落としています。特に、福島第一原発の事故によって電力供給量が低下し、各事業所や一般家庭での節電対策が求められています。医療施設も例外ではなく、あらゆる手段を講じてこれに取り組む必要があります。診療に支障を来さないことを願うと同時に、一日も早い復旧が望まれます。

さて、本号では最終講義1編、特別講演1編、総説1編、原著5編、プラザ2編などと、従来と比べて遜色のない内容になっていますが、先日行われた医学会幹事会の席上、投稿論文数の減少に対して、どのように歯止めをかけるか

が議論となりました。その中で、大学全体の業績を上げるには、**impact factor**のある英文雑誌に投稿することが必要であり、和文の学会誌の投稿数が減少している現状を考えると、あえて東京医科大学雑誌の投稿数を増やす必要はないのではないか、との意見が出されました。一方、社会人大学院制度が開始となり、大学院生の学位論文の受け皿として、東京医科大学雑誌が利用される機会が増える可能性も指摘され、今後の推移を見守っていく必要があります。また、症例報告の投稿数がかなり減っておりますが、初期研修医や専門医を目指す若手の先生方の投稿を強く希望いたします。

(土田明彦 記)

当該雑誌に掲載された論文の著作権は本医学会に帰属する。また本書の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き禁じられている。



この印刷物はグリーン基準に適合した印刷資材を使用して、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮商品です。  
インキは環境にやさしい植物油インキを使用しています。

平成 23 年 7 月 25 日 印刷  
平成 23 年 7 月 30 日 発行  
東京医科大学雑誌 第 69 巻 第 3 号  
発行者 白 井 正 彦  
発行所 東京医科大学医学会  
(東京医科大学内)  
〒 160-8402  
東京都新宿区新宿 6-1-1  
TEL 03 (3351) 6141 (代)  
FAX 03 (3226) 7030  
e-mail address  
igakukai@tokyo-med.ac.jp  
印刷所 笹氣出版印刷株式会社  
〒 984-0011  
仙台市若林区六丁の目西町 8-45  
TEL 022 (288) 5555